



Shin-ei



えにし 縁だより クロスの歴史



寒さのなかにも早春の息吹が感じられる頃。今月は工務の内場智仁が壁紙の歴史についてお話致します。お部屋の雰囲気を決める大きな一因と言っても過言ではない壁紙通称「クロス」。壁紙はいつ日本へ伝わってきたのでしょうか。説は2つあり、発祥の地が中国という説とヨーロッパという説。どちらも西暦1500年頃には壁に紙を貼っていたと考えられています。今のようにそれぞれ壁に貼り付けるものでなく、屏風や襖・障子として独自に発達していきます。特に屏風は水墨画が描かれるなど、当時からデザイン性が重要性されていました。日本では17世紀、茶室の腰張りとして現存するものがあります。本格的な壁紙製造が始まったのは明治時代。大蔵省印刷「金唐草」と呼ばれる美術壁紙の製造が始めとされています。さらに高度成長期の建築ラッシュによって、壁紙が広く普及するようになりました。壁紙はお化粧するように壁を美しく仕上げる事が可能です。室内の壁紙を観察してみてください。お部屋を明るくしたり、気分が上がるような装飾であったり、食事が美味しく感じられるような空間づくりがされていたり…とても面白いですよ！壁紙貼替えの際には是非お声掛け下さい。空間づくりのお手伝いをさせていただきます。



自由設計
Scene - A

2024

如月

株式会社シンエイ・シンエイリフォーム
兵庫県西宮市小曾根町4丁目5番16号
TEL 0798-47-1661 FAX 0798-48-0354
info@scene-a.com